



7月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/minamisenju2/index.html>



寛容さを身に付ける

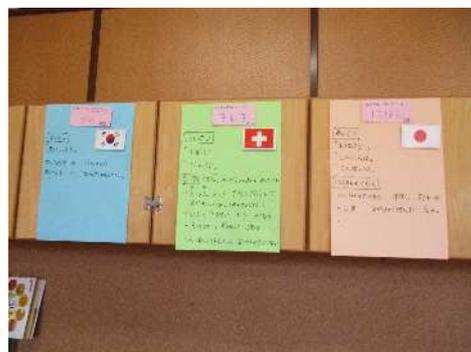
園長 立石 晃子

子供たちの楽しみにしていたプール遊びが始まりました。年少組や年中組ではプール活動前から、新聞をちぎりビニールプールに入れて新聞紙プール遊びをしていました。本番さながら、水着に着替えての新聞紙プール遊びは大盛り上がりでしたので、待ちに待った水のプール遊びでは、水の冷たさに驚きながらも、「楽しい！」と喜びを嘖みしめていた子供たちでした。

本園には、外国籍や外国にルーツのあるお子様も登園しています。年長組にはこの一学期の間に、一時帰国で日本に来たり、外国に里帰りしたりするご家族がいました。オリンピック・パラリンピック教育でも培ってきた「豊かな国際感覚」をぜひ続けたいと考え、保護者の方に依頼し、外国の話をお子様や保護者にさせていただく機会をつくりました。保護者の方は快くお引き受けくださり、パワーポイントにまとめてくださいました。子供たちは外国の乗り物や幼稚園の様子、観光地や食べ物をうかがったり、挨拶の言葉を教えていただいたりしました。さらに知識が増え外国への関心が高まった子供たちでした。年長組の室内には、教えてもらったことが掲示してあります。

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校では、学校として目指したい子供たちの資質・能力として11の力を掲げています。その中で特に注力しているのが「寛容さ」と「創造力」だそうです。寛容とは、「異文化や考え方の違う他者を受け入れ、思いやるあたたかさを持ち、協調して共に高めようとする力」とのことです。私は、「受け入れる」だけでなく、プラスして「あたたかさをもつこと」「協調して共に高めようとする」というところがポイントだと思いました。異文化に触れる経験を通し、「寛容さ」という次世代を担う子供たちに必要な力を身に付けられるよう、経験できる機会を引き続きつくっていきます。

1学期ももうすぐ終わり、夏休みに入ります。今学期も本園の教育活動へのご理解とご協力ありがとうございました。今年もまだまだ新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながらの夏休みとなりますが、親子で楽しく、思い出に残る夏休みをお過ごしください。



楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

お水も泥も気持ちいい～！明日もやりたいね！

夏本番前の暑さに負けず、子供たちは戸外で元気に遊んでいます。ホースの水を繰り返しシャワーの様に浴びに向かったり、穴を空けた傘袋に水を入れて体を濡らしてみたり、泥山で全身泥だらけになったりと感触や開放感を味わう遊びに夢中です。待ちに待ったプール遊びは、保育室でのプールごっこから期待感がいっぱい。登園時に「今日も新聞紙のプールごっこやる？」と開口一番に聞く子や活動前の好きな遊びの時間から水泳帽を被って心待ちにしている子もいました。本物のプールでは、セレモニーでの放水に大興奮。「キャー」と嬉しそうな声が聞かれました。「冷たい」「気持ちいい」と全身で水の感触を楽しみました。

いよいよ夏休み目の7月は、七夕のつどいや夕涼み会など夏の行事が盛りだくさんです。「日本の夏」を体感して過ごせるように遊びや製作、行事へ取り組んでいきます。夏ならではの幼稚園での遊びや過ごし方を知り、教師や友達と一緒に楽しめるように過ごしていきます。

< 4 歳たんぼぼ組 >

おひさまピカピカ！元気に遊ぼう！

「わーい！今日は晴れたね！」と大喜びした翌日には、「今日は雨だね。寒いね。」と梅雨から夏への季節の変化を肌で感じている子供たちです。ある日、担任が「雨が...」とつぶやくと、「雨で遊べないけど、トマトは喜んでいるよ」「葉っぱが元気だから」と話してくれる姿がありました。栽培しているトマトをよく観察していること、何よりも、その優しい気持ちに嬉しくなりました。暑さに負けず、水を使った遊びもいっぱい楽しんでいます。色水では、クレープ紙の枚数で変わる色の変化を考えたり、泥水では、その感触を混ぜながら楽しんだりしています。しゃぼん玉遊びも始まりました。「大きくしたいな！」「いっぱい吹きたい！」と、吹き方を工夫しています。

7月は、夏ならではの行事や遊びがいっぱいです。七夕や夕涼み会など、涼も感じられるような製作や遊びを楽しんでいき、友達と一緒に遊ぶことを楽しいと思えるようにしていきます。

< 5 歳ばら組 >

「もうお片付けの時間だよ！」自分たちで声を掛け合うばら組！

年長としての生活が落ち着き、自分たちで生活のペースを作り出している姿が見られるようになってきました。みんなで一日の流れを確認し、「11時に片づけて集まろう」と話していると、「もう少しで時計が12になる！」と気付いたり、時には、自分たちで声を掛け合って片付けはじめ、集まって待っていて担任を驚かせたり...という姿が見られます！自分たちで、「したいこと」がはっきりとし始め、「しなければならぬこと」も分かって自分たちでやろうとしたり、「かっこいい？」「一年生みたい？」などと言ったりしながら、自分たちの成長を実感しているようです。年中の時にはできなかったことができるようになったり、今まで挑戦したこともなかったことにも「やってみよう！」と思えたり、「もっとじょうずになりたい！」という気持ちが芽生えたり、そういう気持ちの変化や、少しずつ積み重ねていく小さな満足感を大事にしていきます。また7月は、この時期ならではの行事を通して、皆で「夏」をじっくり感じていきます。